取扱説明書検証の流れ

1. 申し込みから受付まで

①JTDNA 公式サイトのバナーをクリックし「検証や見直しのご相談」に移動します。

②内容をよくお読みいただき、内容をご確認のください。
検証のお申込み >>> こちら
をクリックしてください。

③認定事業者の運営する受付の入力フォームに移動しますので、このフォームに必要事項を入力・選択し、最後に 送信 をクリックして完了してください。
※【受付完了画面】が表示されます。エラーの有る場合はもう一度入力情報を確認してください。

【受付完了確認画面】

④地域担当の認定事業者よりご登録のメールアドレスに【取扱説明書検証受付票】がメール送信されます。

⑤受付票をプリントしそれを添付し検証対象取扱説明書を 2 部協会宛にご郵送ください。
※複数有る場合も個々に入力し上記のようにして送ってください。

⑥該当取扱説明書のデータを受付用メールアドレスにお送りください。
※必ずタイトルに「受付番号」を記載してください。

【郵送先】
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-22-5
パークスビル２Ｆ
NPO 法人日本テクニカルデザイナーズ協会
検証受付宛

【データ送信先】

kenshou.jtdna@gmail.com

※データが重過ぎる場合はメール宅配便などでお送りください。CD-R では受付で来ません。

取扱説明書検証の流れ

2. 検証作業と結果について

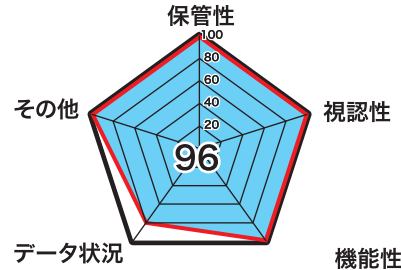
①協会にて受付後、地域担当の認定事業者に被検証媒体（紙媒体と電子媒体）を転送します。
※協会では控を一組保管します。

②認定事業者に所属のインストラクター、正会員などにより検証を行います。
※無料の場合は結果 (右図のもの) と被検証紙媒体 1 部を申込人に送料着払いで発送します。

③有料検証については、下記の方法で内容の説明を致します。

■協会本部（東京）サロンにてインストラクターにより直接説明
■交通費実費にて訪問説明
※認定事業者の担当と直接お取り決めください。

取説検証プログラム

現在の説明書の内容、ガイドラインに則り使用者側の視点で検証し、不備改善部分を表示します。

■ **評価内容例** ■

1.保管性
10年以上の間、使用者がファイルなどに保管するための適性について評価します。

2.視認性
高齢化社会にも対応できる見やすさ、わかりやすさなどを評価します。

3.機能性
表紙に求められる機能、更に注意書きではなく「危険の洗い出し」という作業を経ているか、など、取扱説明書としての機能性を評価します。

4.データ状況
10年間保管管理を行うために、データの制作状況や圧縮形式など、プラットフォームやソフトの変革に対応できるのか、さらにweb対応力などを評価します。

5.その他
本体表示との整合性、総合的な事故防止に関する評価を行います。

項目ごとの検証結果を元に、各項目とガイドラインとの相関で改善点をアドバイスします。特殊なものなどはSNS などで後日対応でご相談に応じます。

有料検証の結果説明、改善アドバイスの場合

【重要事項】
・この検証結果は、その評価結果で事故やトラブルの発生や減少などを関連づけるものではなく「消費者に対して安全に使用するための情報を伝える努力した成果」を客観的に評価することにより、今後の改善などに役に立てていただく目安としています。
・電機製品の電気的リスクなど、製品以外のリスク表示などは業界団体のものを参考し製品の実際のリスクと照らし合わせて作成ください。
・この結果により訴訟などの際に有利になるなどの目的ではなく、企業の製品安全対策取り組みの中に組み入れて、事故予防にお役立てください。

特定非営利活動法人　日本テクニカルデザイナーズ協会